

事業戦略説明会

2023年9月28日

1. 事業紹介

2. 基本方針

3. 事業戦略

(1) 持続的成長に向けて

(2) 企業価値最大化に向けて

4. 経営基盤強化

(1) 財務戦略

(2) 人的資本

(3) ガバナンス

1. 事業紹介

1.事業紹介 ～製品～

内燃機関を中心にビジネスを展開してきた

軸受製品



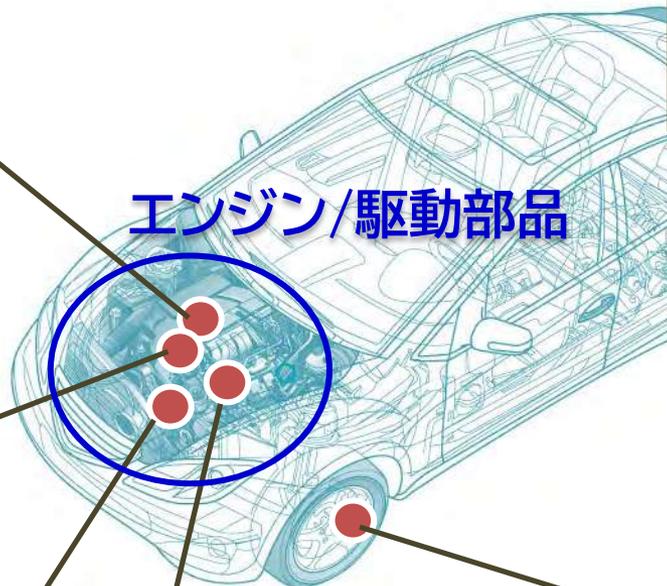
ガスケット製品



ダイカスト製品



エンジン/駆動部品



システム製品



自動車製造用設備



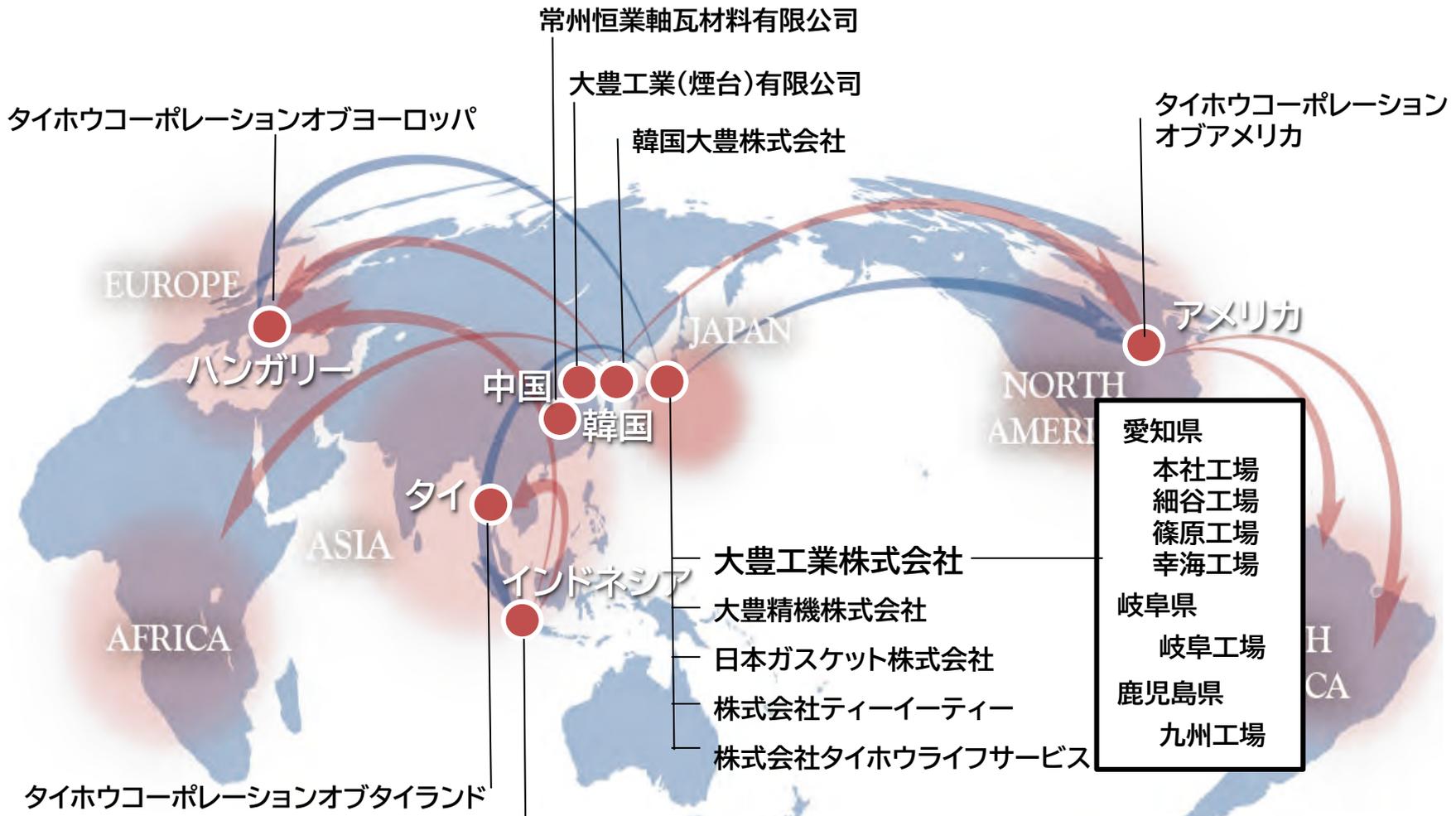
金型



その他



1.事業紹介 ～拠点～



国内:6拠点、海外:7拠点、国内子会社:4社

グローバルに展開し、自動車産業に貢献

2. 基本方針

VISION2025

地球環境とミライの社会に貢献

事業戦略

深化

探索

経営基盤強化

《財務戦略》

- ・資産効率の最大化
- ・戦略投資
- ・長期安定的な配当

《人的資本戦略》

- ・人財育成
- ・風土づくり

《ガバナンス強化》

- ・ガバナンス体制の充実
- ・コンプライアンス遵守
- ・リスクマネジメント体制の強化

2030年を見据えた更なる成長の実現

持続的成長

【既存事業強化】
～稼ぐ力最大化～

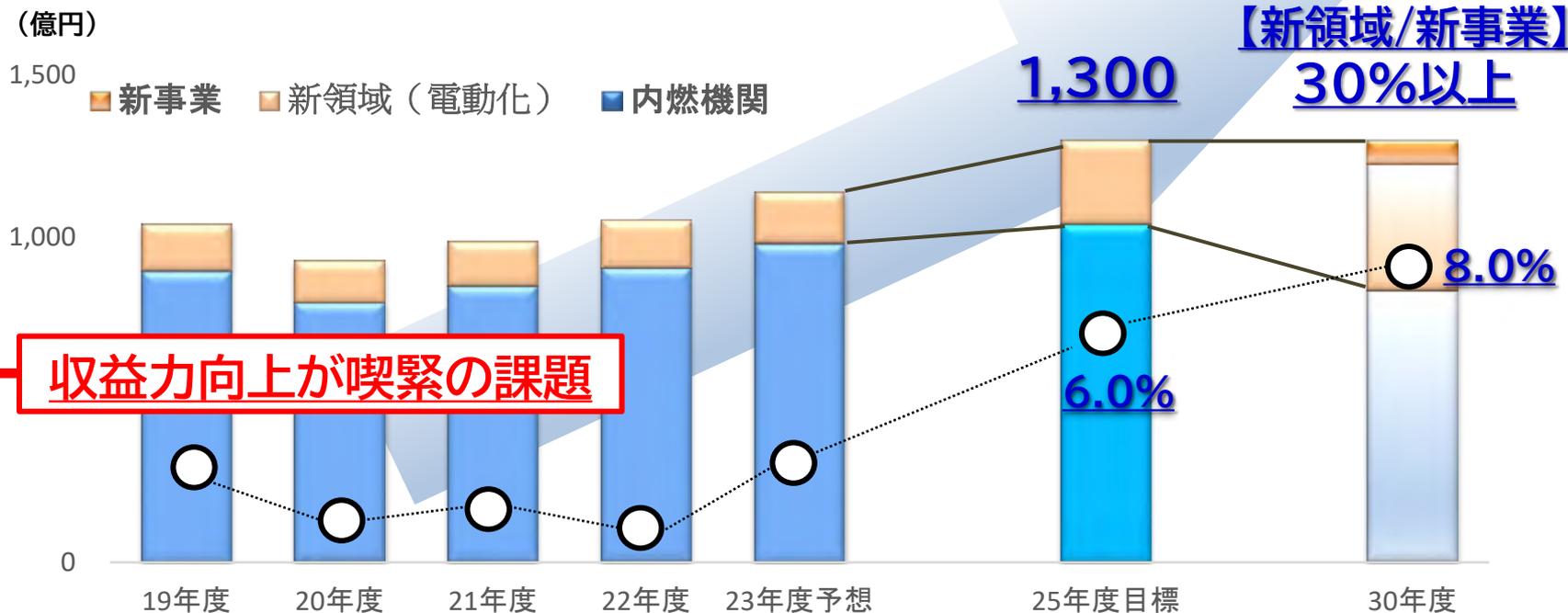
×

企業価値最大化

【新領域・新事業創出】

2030年に向けた方針

将来に向けた新事業創出が必要



持続的成長に向けて
【既存事業強化～稼ぐ力最大化～】

企業価値最大化に向けて
【新領域・新事業創出】

2つの方針を軸に将来に向けた活動を進めていく

3. 事業戦略

(1) 持続的成長に向けて

【既存事業強化～稼ぐ力最大化～】

- ①生産集約
- ②造り方を変える
- ③デジタル活用

(1)持続的成長に向けて【既存事業強化～稼ぐ力最大化～】

“効率を最大化”し、生産性を上げる

①生産集約

工場の生産品目の集約

➡ 設備/エネルギー/人の効率化

②造り方を変える

多量品/少量品のすみ分け

➡ 生産の効率化

③デジタル活用

人を中心としたデジタル化

➡ 業務/作業の効率化

(1)持続的成長に向けて ~①生産集約~

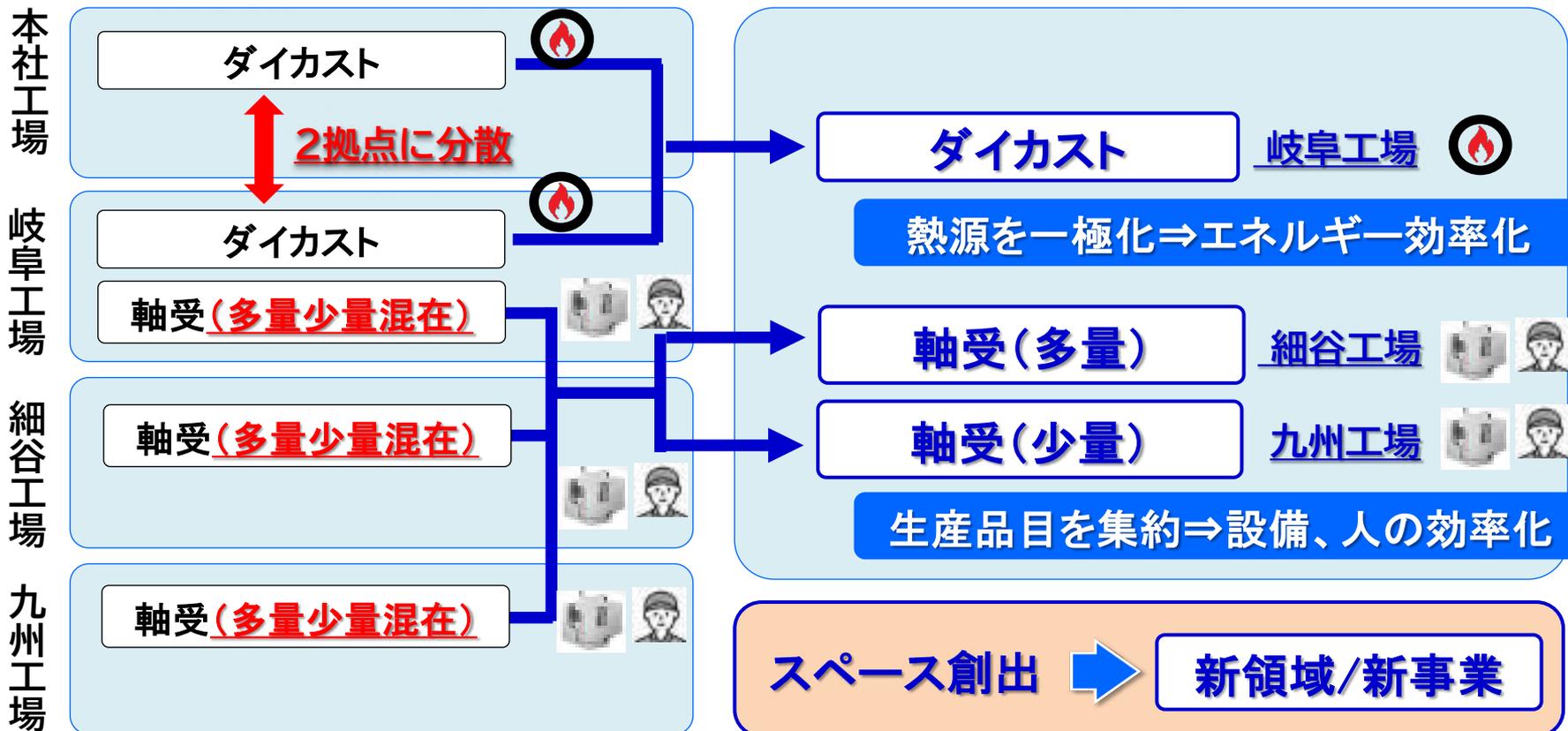
工場の生產品目の集約 ⇒ 設備/エネルギー/人の**効率化**

※少量:1,000個/月 以下

生產品目が散在!

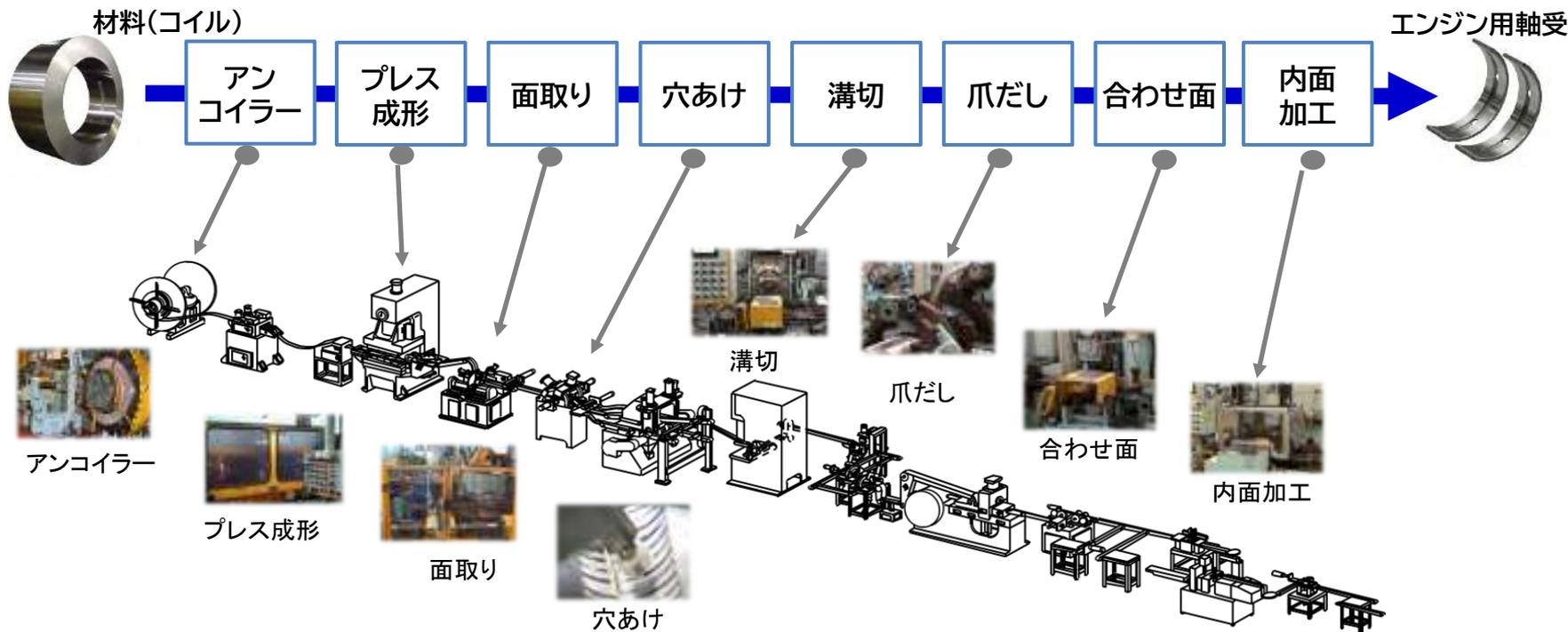


集約



(1) 持続的成長に向けて ~②造り方を変える~

<現状> 多量連結ライン



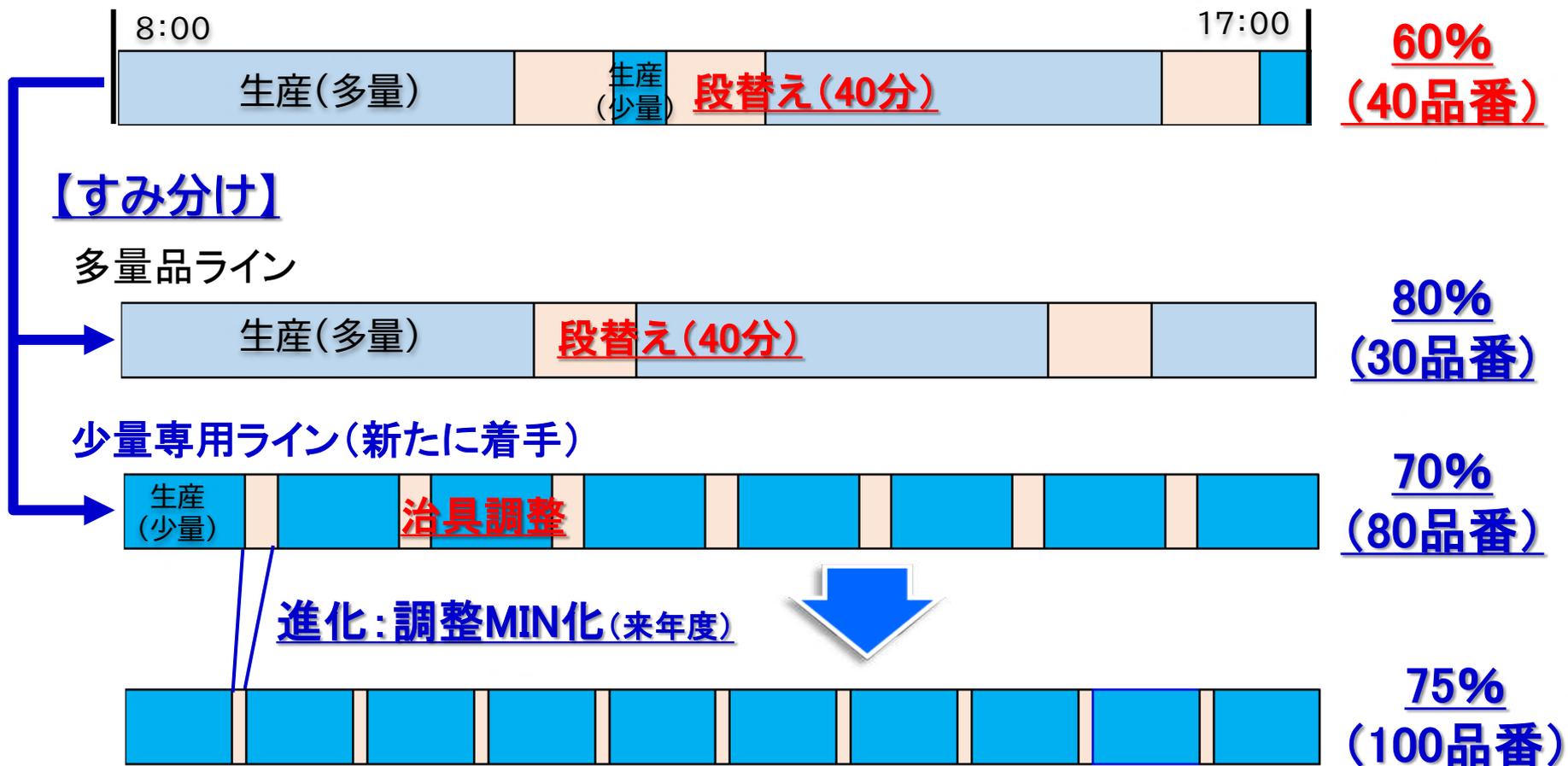
・段替え時：全設備停止、一斉段替え/調整 ⇒ **40分/回(3人作業)**

・多量品、少量品が混在 ⇒ **段替え回数多、生産量少**

(1) 持続的成長に向けて ~②造り方を変える~

【現状 = 多量 + 少量】

可動率
(仕掛け品番/月)



軸受全体生産性: 10%以上向上

(1) 持続的成長に向けて ~②造り方を変える~

【多量連結ライン】



コイル

連結



全設備停止⇒一斉段替え/調整

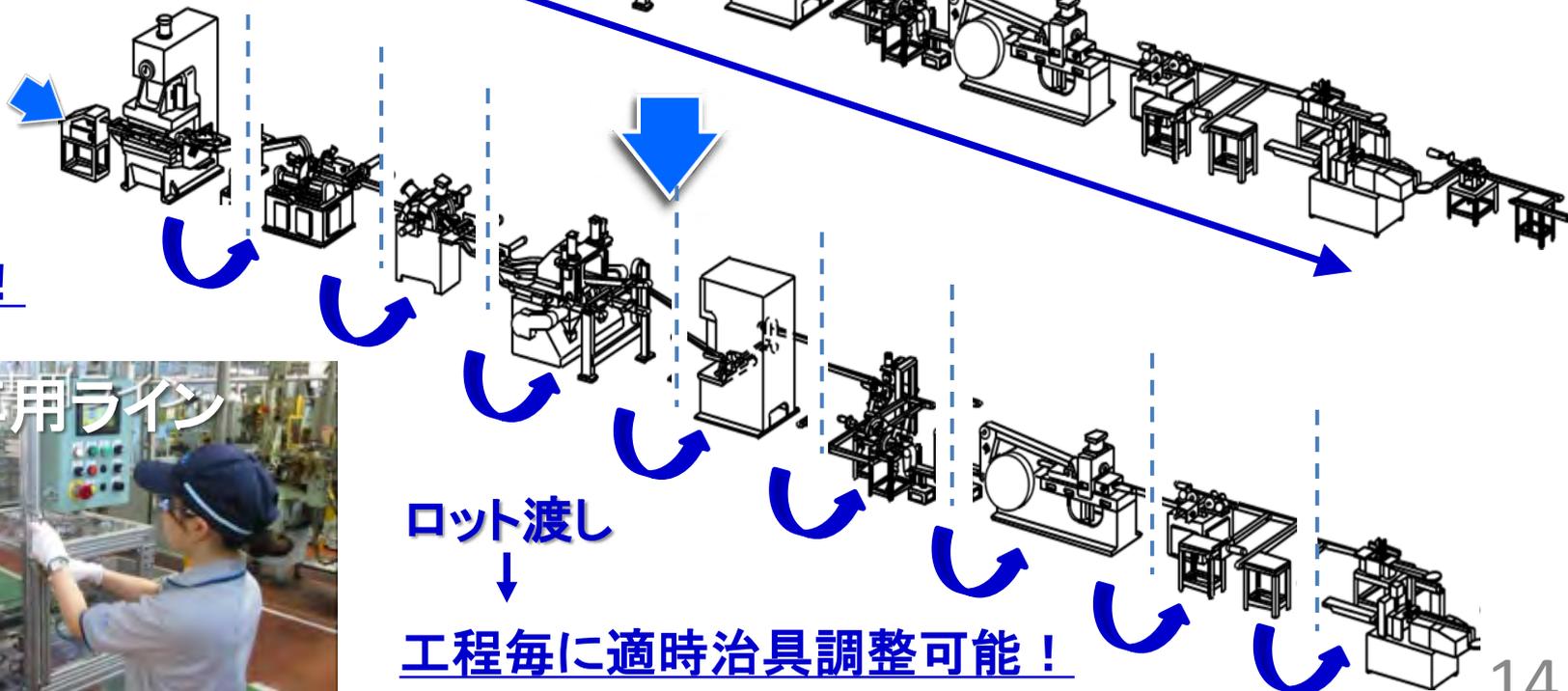
【少量専用ライン】



端材



有効活用！



少量専用ライン

ロット渡し



工程毎に適時治具調整可能！

(1)持続的成長に向けて ～②造り方を変える～

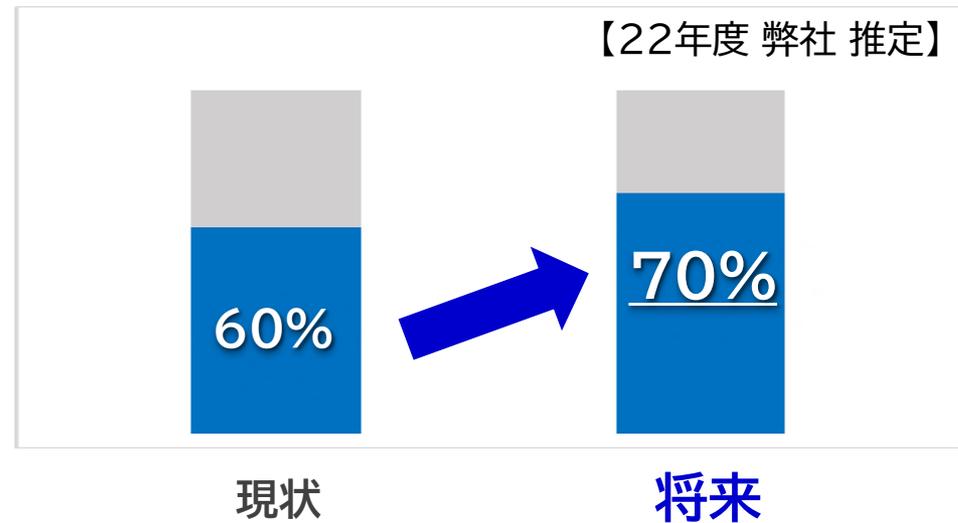
生産性向上成果 ⇒ 海外補修市場のシェアアップ

海外補修品とは
・メンテナンス時等に使用する
交換用パーツ



※現行品番数:約7,000品番

海外補修市場向(新興国)日本車軸受市場



- 【強み】・新興国を中心に40年以上の実績
- ・納期に対する顧客の高い信頼

内燃機関部品の供給責任を果たし、車両のライフサイクルを支え続ける！

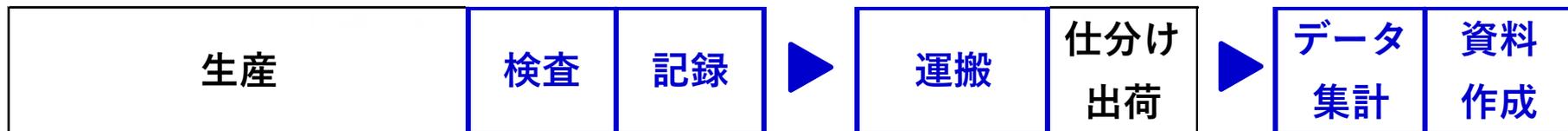
(1) 持続的成長に向けて ～③デジタル活用～

人を中心としたデジタル化 ⇒ 業務/作業の効率化

生産

物流

管理



人の目
⇒ 自動検知



手で記入
⇒ デジタル化



人の運搬
⇒ AGV化



自動集計
～見える化

「技能」は人が伝承！

付加価値のない作業を自動化/効率化

3. 事業戦略

(2) 企業価値最大化

【新領域/新規事業創出】

- ① 社会課題解決への貢献
- ② 電動化への貢献

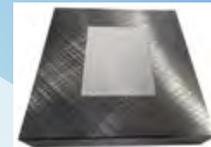
(2)企業価値最大化【新領域/新事業創出】

グループシーズを結集 ⇒ 社会課題の解決と電動化に貢献

①社会課題解決への貢献



②電動化への貢献



グループシーズを結集

(2)企業価値最大化

～①社会課題解決への貢献:カーボンニュートラルの実現に向けて～

超低エネルギーによる排水処理システムを構築

【システム概要】 高性能膜を使用した独自の排水処理システム

従来:減圧加熱方式 本システム:電気のみ



当社量産めっきライン実用設備

2023年8月 愛知県

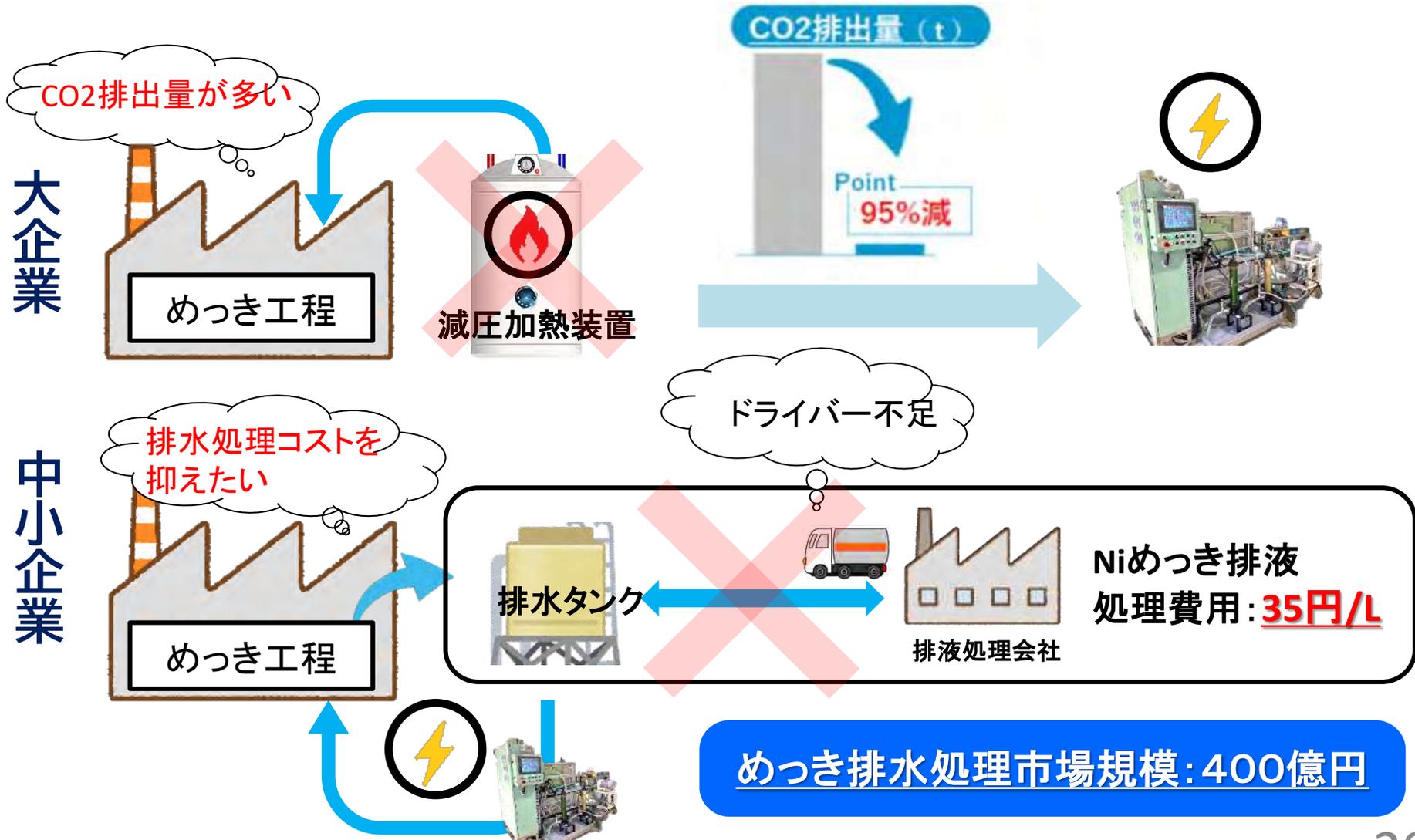
『革新事業創造事業費補助金』

事業に認定

本システムをめっき業界全体に広げていく！

(2)企業価値最大化

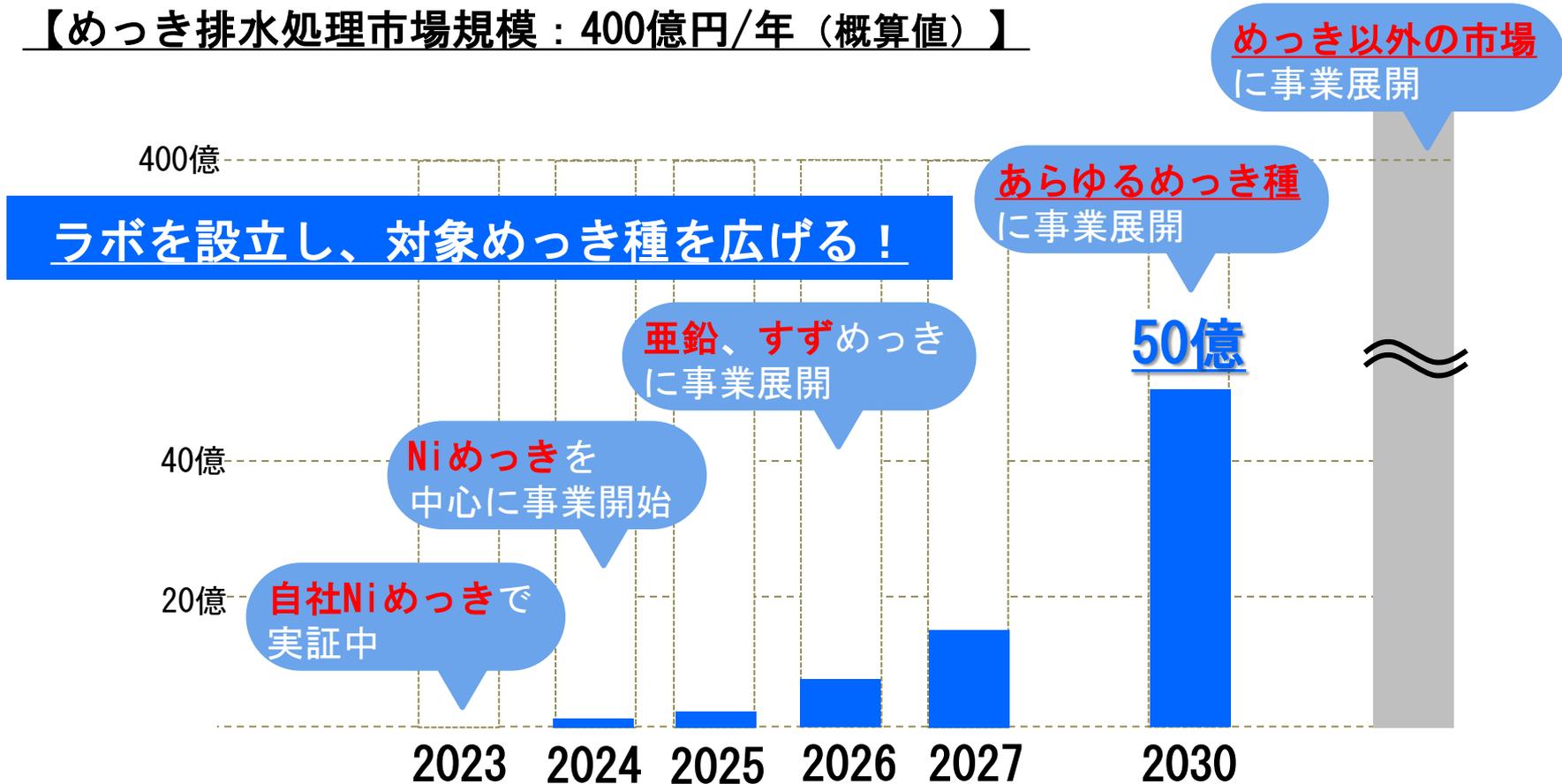
～①社会課題解決への貢献:カーボンニュートラルの実現に向けて～



(2)企業価値最大化

～①社会課題解決への貢献:カーボンニュートラルの実現に向けて～

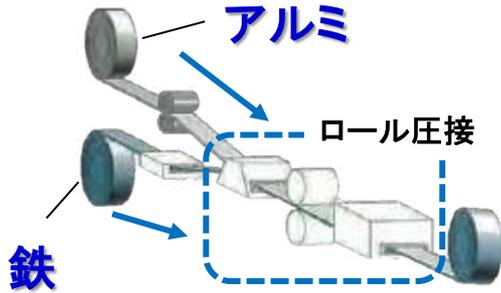
【めっき排水処理市場規模：400億円/年（概算値）】



(2)企業価値最大化 ～②電動化への貢献～

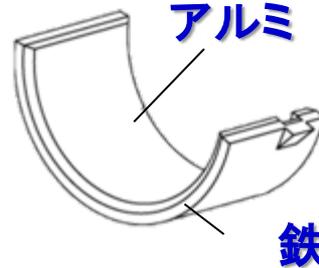
材料技術を用いた新製品開発 ⇒ 商品を変える!

大豊材料 要素技術



異種材接合技術

現在



バイメタル軸受

将来



電池用クラッド端子



樹脂材

金属粉

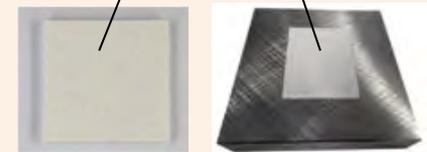
樹脂混錬技術

樹脂コーティング



樹脂コート軸受

高熱伝導 樹脂コンポジット



高熱伝導材

4. 経営基盤強化

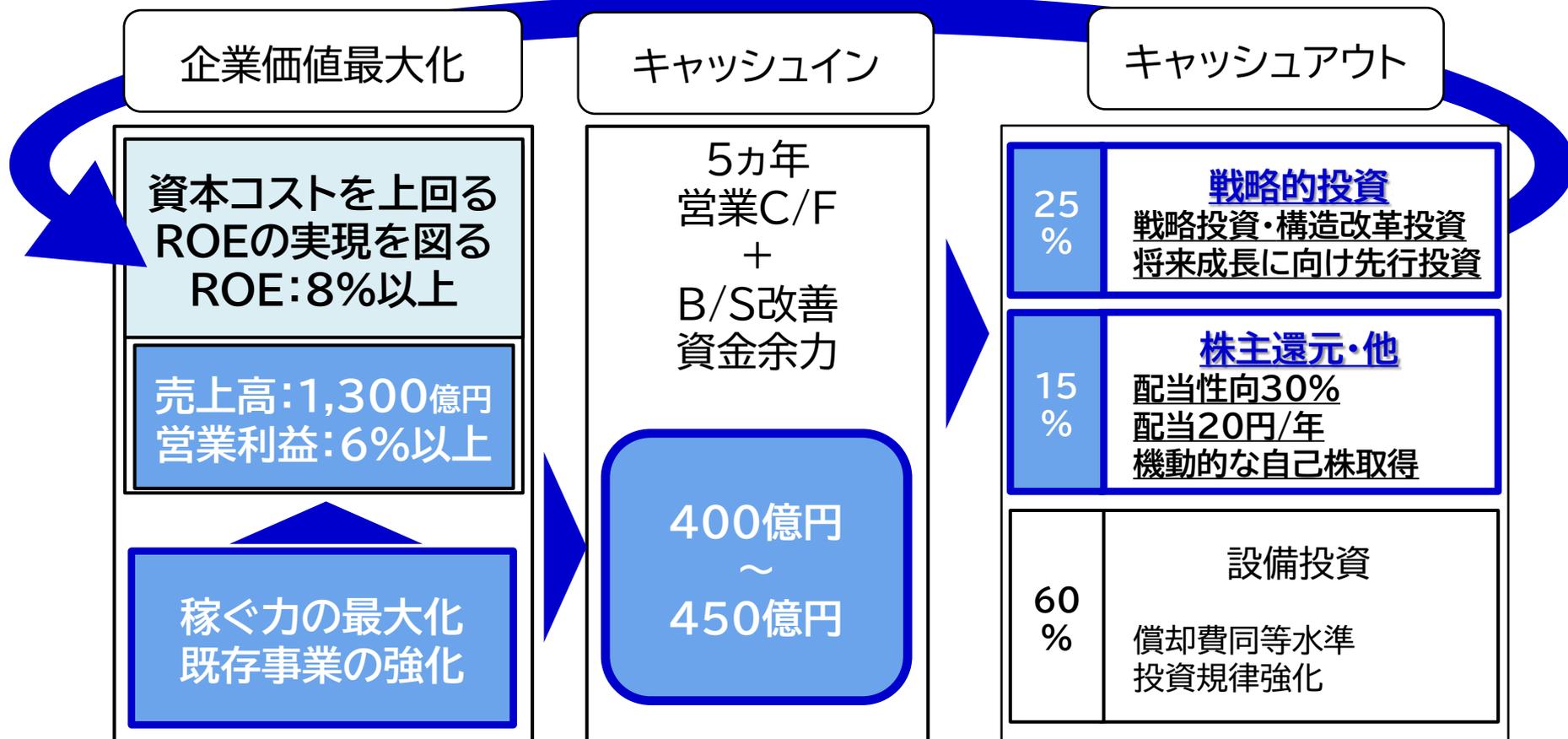
(1) 財務戦略

(2) 人的資本

(3) ガバナンス

(1)財務戦略

既存事業で利益を稼ぎ、
「ポートフォリオ変革(新事業/新製品創出)」と「株主還元」へ優先配分



(2)人的資本経営

「人財」=会社の最も大切な資本
積極的な「人」への投資と働きやすい環境づくりを図っていく

社員のチャレンジを後押しするしくみ、環境づくりを促進！



キャリアデザイン

選択型教育

リスキリング



IT、DX支援



女性活躍WG

人財育成

海外トレーニー制度

スキルアップ制度

マネジメント教育

管理能力向上プロジェクト

教育

しくみ

人事評価制度の整備

企業内託児所設置

育児休業制度の拡充



ボウリング大会

駅伝大会

大豊祭

一体感

風土づくり

(3)ガバナンス

全てのステークホルダーに信頼される企業へ

社是「信頼の大豊」

社 是

私たちは時流に先んじ、合理主義に基づき

優れた製品をもって顧客の信頼に応える

— 信頼の大豊 —

ガバナンス強化

コーポレートガバナンスコード
全原則準拠

コンプライアンス

- ・法規制遵守：違反ゼロ
- ・内部通報制度：22件(22年度実績)
⇒全て解決済
- ・コンプライアンス教育：4回/年

リスクマネジメント

- ・リスク調査：1回/年⇒対策
- ・情報セキュリティ：
自工会ガイドライン 94%実施済
(22年度実績)
- ・BCM：1回/月 委員会実施



独自技術と若い力で、
明るい未来を切り拓く

